

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成25年11月14日 (2013.11.14)

【公表番号】特表2013-507087(P2013-507087A)
 【公表日】平成25年2月28日 (2013.2.28)
 【年通号数】公開・登録公報2013-010
 【出願番号】特願2012-533131(P2012-533131)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 7/32 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 7/137 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月27日 (2013.9.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ビデオエンコードにおける方法であって、
 ピクチャの少なくとも 1 部のピクチャデータを符号化するステップを含み、
 前記符号化するステップは、前記ピクチャの少なくとも 1 部の色度成分についてイントラ予測を生成するために使用される予測データのフィルタリングを実行するステップを含み、

前記フィルタリングは、前記フィルタリングのフィルタパラメータの少なくとも 1 つに関して、及び、前記フィルタリングが使用されるか又はバイパスされるかに関して適応的に行われる、

方法。

【請求項 2】

前記色度成分のそれぞれの画素に適用されるフィルタ長及びフィルタの強度の少なくとも 1 つを決定するエッジ検出が使用される、

請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記ピクチャの少なくとも 1 部の色度成分についてイントラ予測を生成するために適応的な前記フィルタリングが使用されるか又はバイパスされるかを判定するエッジ検出が使用され、適応プロセスの結果は、前記予測データに依存する、

請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】

前記予測データは、フィルタリングされた予測データを取得するためにフィルタリングされ、前記ピクチャの少なくとも 1 部の色度成分についてイントラ予測を生成するために使用される前記予測データの予測値は、前記予測データと前記フィルタリングされた予測データとの関数である、

請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】

前記関数は、前記予測データと前記フィルタリングされた予測データのうちの 1 つを前記予測値として選択する、

請求項 3 記載の方法。

【請求項 6】

前記予測データと前記フィルタリングされた予測データとの間の差の絶対値は、前記予測値を決定する、

請求項 3 記載の方法。

【請求項 7】

前記関数は、前記予測データの画素に適用される量子化ステップに依存する、

請求項 3 記載の方法。

【請求項 8】

ビデオデコードにおける方法であって、

ピクチャの少なくとも 1 部のピクチャデータを復号化するステップを含み、

前記ビデオデコードは、前記ピクチャの少なくとも 1 部の色度成分についてイントラ予測を生成するために使用される予測データのフィルタリングを実行する適応フィルタを含み、

前記フィルタリングは、前記フィルタリングのフィルタパラメータの少なくとも 1 つに関して、及び、前記フィルタリングが使用されるか又はバイパスされるかに関して適応的に行われる、

方法。

【請求項 9】

前記色度成分のそれぞれの画素に適用されるフィルタ長及びフィルタの強度の少なくとも 1 つを決定するエッジ検出が使用される、

請求項 8 記載の方法。

【請求項 10】

前記ピクチャの少なくとも 1 部の色度成分についてイントラ予測を生成するために前記適応フィルタが使用されるか又はバイパスされるかを判定するエッジ検出が使用され、適応プロセスの結果は、前記予測データに依存する、

請求項 8 記載の方法。

【請求項 11】

前記予測データのエッジ検出は、前記色度成分のそれぞれの画素に適用されるフィルタタイプ、フィルタ長及びフィルタの強度のうちの少なくとも 1 つを決定するために使用される、

請求項 10 記載の方法。

【請求項 12】

前記予測データは、フィルタリングされた予測データを取得するためにフィルタリングされ、前記ピクチャの少なくとも 1 部の色度成分についてイントラ予測を生成するために使用される前記予測データの予測値は、前記予測データと前記フィルタリングされた予測データとの関数である、

請求項 8 記載の方法。

【請求項 13】

前記関数は、前記予測データと前記フィルタリングされた予測データのうちの 1 つを前記予測値として選択する、

請求項 12 記載の方法。

【請求項 14】

前記予測データと前記フィルタリングされた予測データとの間の差の絶対値は、前記予測値を決定する、

請求項 12 記載の方法。

【請求項 15】

前記関数は、前記予測データの画素に適用される量子化ステップに依存する、

請求項 12 記載の方法。